

オーチャードグラス「ハイキングII」の推奨品種への編入

(畜試、草地部)

1. 来歴

国内外の4品種、Majestic, Holsteinkamp, Kay, ハイキングを育種材料として5栄養系を選抜し、これを構成母本として合成品種法によって育成した。育成地は雪印種苗株式会社中央研究農場で、現在、OECD登録申請中である。

2. 特性の概要

- 1) 畜産試験場での出穂期は6月16日で、アオナミに比較して約20日遅く、チモシー並の極晩生種である。
- 2) 草は直立型で、葉色は淡緑色を示し、出穂数が少ない。株数が多く裸地化しにくい。
- 3) 耐寒性が極強であるが、耐暑性は中程度で、雲型病にやや弱い。

3. 選定の理由

- 1) チモシー並の極晩生であるので、他草種、他品種との組み合わせにより刈り取り適期幅の拡大と収穫作業のローテーションがスムーズになる。
- 2) 面積が大きく刈り取りに長期間を要する公共草地や多回利用の困難な高標高の草地に適する。
- 3) チモシーと比較して夏期の高温による夏枯れがなく、雑草の侵入も少ない。
- 4) 他のオーチャードグラスと比較して株密度が高く、草地の長期維持が期待される。

4. 適応地域

県下全域に適するが、特に高標高(500~1,000m)に適する。

5. 普及上の留意点

秋の草勢が劣るので最終刈り取り後の放牧利用は出来ない。

6. 参考資料

- 1) 農林水産技術会議事務局、飼料作物の品種解説。(1986)
- 2) 北海道農業試験場他、オーチャードグラス「SB-O-7801」に関する試験成績(1987)

7. 試験成績の概要

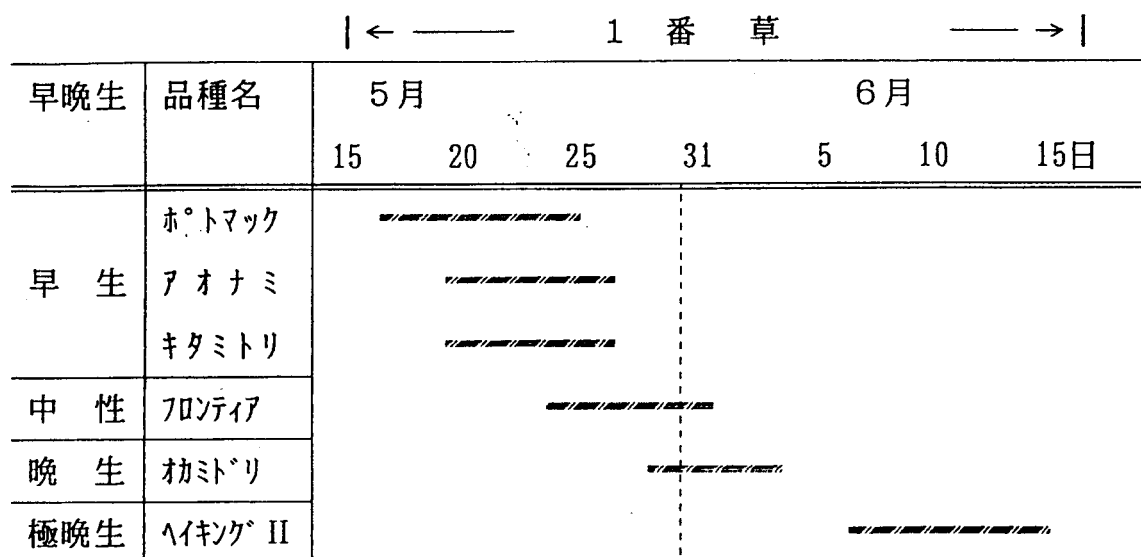


図1 滝沢におけるオーチャードグラスの品種別刈取り適期（出穂始期～出穂期）

表-1 滝沢及び外山における一斉刈時の乾物収量(kg/10a)

品種	試験地	年次	1番草	2番草	3番草	合計
ヘン	外山	1989	470	373	246	1,089
イグ	外山	1990	535	342	294	1,171
キII	外山	1991	462	225	361	1,048
ン	滝沢	1991	590	247	201	1,038
キド	外山	1989	430	477	239	1,146
タリ	外山	1990	519	423	326	1,273
ミ	外山	1991	530	284	377	1,191
アオナミ	滝沢	1991	615	302	243	1,160

注) 滝沢はハイキング II に、外山はキタミドリに合わせた一斉刈り

表-2 利用3年後越冬前の株数 (㎡あたり)

年次	ハイキング II	アオナミ	アキミドリ	有意性
1991	71	37	40	**